

みんなの笑顔を広めよう～共生、福祉

米子市立彦名小学校

1. 本校の教育目標

「夢に向かって志を高く 自ら学び 創造する 子どもの育成」

e～学校を創ろう！～自分達の学校は 自分達で創る～

- ・一人一人の可能性を最大限に広げる
- ・一人一人の学力を最大限に伸ばす
- ・一人一人の思いを最大限に実現する

【めざす子ども像】

- ◎関わり合いの中で、なりたい自分（目標・夢）に向けて頑張る子ども
- ◎違いを認め、互いのよさを大事にする子ども
- ◎自らが育つ地域、ふるさとに誇りをもつ子ども

2. 福祉教育の目標

- 人と人とのふれ合いを大切にし、お互いが助け合い、協力し合い、みんなが幸せに生きることができる平和な社会を築こうとする心を育てる。
- 人や動植物を大切にする心、困っている人や弱い立場の人に対する思いやりの心を育て、みんなのためになることを自発的にしようとする態度を身につける。

3. 実践報告



運動会や学習発表等の行事を機に、全校単位で「よいことみつけ」を行った。学年にとらわれず、たくさんの児童のよいところに注目できたことで、行事に前向きに取り組むことができた。また、書かれたメッセージを給食時間の放送での発表を行った。このことにより、更に児童の素敵な姿について全校に発信することができ、よいことみつけが広がっていった。

彦名小学校の5年生は、総合的な学習の時間「みんなの笑顔を広げよう～共生，福祉」で、「相手意識」をテーマに掲げ、児童養護施設や保育園、養護学校との交流、高齢者疑似・車いす体験活動等に取り組んできた。児童養護施設との交流では、障がいをもつ園児のみんなが頑張っていることや、子どもたちの力を伸ばすために園で行っている工夫の話聞き、そのことを生かして交流で行う遊びを考え実践した。その中で、子どもの目線に合わせたり、子どもにわかりやすいようにゆっくり話したりするだけでなく、自分達も一緒に遊びを楽しむことが大切だということに気付き、非常に有意義な交流となった。後の保育園や皆生養護学校との交流も、この経験を生かして取り組んだことにより、笑顔あふれる素敵な交流となった。



- ろう者で耳が聞こえないからこそ分かることや考えがあることに、誇りをもっているという話が心に残りました。
- 耳の聞こえる人と聞こえない人の共生を大切にという話が心に残りました。
- 指の形が違うだけで意味が伝わらなくなるので、気をつけたいと思いました。

- 子どもが落ちないようにいすが工夫されていたし、子どもとふれ合う遊びをしていて、楽しいだけでなく、仲を深める遊びだと思いました。
- 園児の子と目線を合わせることを意識しました。自分達が考えた遊びで、楽しく笑顔で遊んでくれてうれしかったです。



4. おわりに

他学年や地域の方との関わりを通して、周りの人に思いやりや感謝の気持ちを持ち、人と人との温かいつながりを感じることができた。また、第5学年の総合的な学習の取り組みでは、様々な立場の方々との交流を行ったことにより、互いの違いを認め合い、思いやりをもって行動しようとする子どもたちの姿を見ることができた。これからも、みんなが笑顔で生活できるよう、学習で付けた力をこれからの生活に生かして行ってほしい。